

第16回 CSW インターン募集

2019年国連女性の地位委員会(CSW63)へ 派遣する女性インターン募集



認定 NPO 法人日本 BPW 連合会

日本BPW連合会では、国際問題に関心を持つ大学生または30歳以下の女性を対象に、毎年ニューヨークの国連本部で開催される、女性の地位委員会(CSW)に派遣するインターンを募集しています。これは、日本BPW連合会が加盟するBPW International(BPWI)が、国連の「諮問的地位」を有する団体であることにより、可能になるもので、2003年のインターン派遣事業開始から、今回は第16回の派遣となります。

2019年派遣インターン募集要項

募集目的 国際問題・国連問題・女性問題に関心を持つ、あるいは将来その方面で活躍したいと願う若い女性を支援する目的で行われるもので、国連本部内及びその周辺で行われる様々な関連行事への参加を通して、若い世代の国際的な感覚・知識の育成を目指しています。第63回女性の地位委員会の優先テーマは「Social protection systems, access to public services and sustainable infrastructure for gender equality and the empowerment of women and girls; (仮訳: ジェンダー平等と女性・少女のエンパワーメントのための社会的保護システム及び公共サービス及び持続的インフラへのアクセス)」です。

期 間 第63回国連女性の地位委員会は、2019年3月11日(月)から22日(金)の日程で開催されます。登録・事前のイベント、BPW インターンの顔合わせなどの都合で、開始前の前々日(9日)に到着するようお願いいたします。*直前にユース対象プログラムが別途設定され、募集が公表される場合があります。(日程未定)

- 6つの特典**
- CSW の会議と平行して行われる様々なイベントやワークショップに参加し、発言し、意見を述べることができます。
 - BPW インターナショナル主催の各種活動(ワークショップ、交流会、夕食会など)に参加して、各国のBPWIメンバーと交流ができます(BPWIとの交流の有料部分はBPW一部負担)。
 - 国連やCSWに関する説明や解説を事前あるいは現地で受けることができます。
 - 日本政府代表部がおこなう公式説明会に参加できます。
 - 世界各国の女性団体の方と交流できます。
 - 国際関係・女性問題関係を専攻する女子学生には、論文作成などのための最前線の資料が入手できます。

募集対象 国際問題、女性問題、国連に関心を持つ20歳以上の、大学生または30歳以下の女性、若干名。事前勉強会への参加、NYでは現地ブリーフィングへの参加など、インターン活動を優先していただける方。帰国後は、報告書を作成し日本BPW連合会に提出いただく他、BPWが企画するイベント(報告会・NWECインターン報告・各地のBPW活動)などに参加いただける方。また今後ヤングBPWのメンバーとしてBPWの活動に参加できる方。

費用 航空運賃・宿泊費・生活費は自己負担。海外旅行保険も自己負担になりますが必ずご加入ください。また、NGOブリーフィングや食事会、有料イベントへの登録料は各自負担になります。但し、BPWが行うイベント(夕食会他)への参加費の一部はBPWが負担します。

応募方法 E-mailにて、応募必要事項記載の上、小論文(応募動機および国際問題・女性問題・国連に関するあなたの意見を日本語および英語で述べて下さい。「日本語で1000字前後、英語で500words以内」を添付の上送信。

応募・問合せ csw2019@bpw-japan.jp(日本BPW連合会インターン担当)件名「UN-CSW インターン」と記載してください。

応募〆切 2018年10月10日(水)

結果発表 2018年11月10日(土)

BPWのホームページも参照ください <http://www.bpw-japan.jp/japanese/csw.html>



BPWとは? Business and Professional Womenの略で、日本BPW連合会は、NPOとして、職業を持つ女性たちの地位向上や、格差是正、そして女性の力による世界の紛争防止や、自然災害での被害削減をもとめて可能な開発と平和にむけて、国内及び国外の働く女性と共同して活動している女性団体です。日本BPW連合会が加盟するBPW Internationalは、国連の経済社会理事会の諮問機関として一般協議資格をもつ組織で、世界の100以上の国と地域が加盟しています。

日本BPW連合会は1958年に創立。現在16の地域単位のクラブ・アソシエーツで構成され、各クラブは、BPWIの方針に添った統一テーマを基本に、独自の活動及び情報の交換や交流も活発におこなわれております。毎年5月または6月に、BPW全国大会を開催し、ヤングスピーチコンテスト最終選考大会や、働く女性に関するワークショップなどを行うほか、内閣府男女共同参画局との共催シンポジウムなどを実施しています。2009年9月にNPO法人化し、2017年に認定NPO法人日本BPW連合会となりました。

問い合わせ & 応募先	E-mail	csw2019@bpw-japan.jp (日本 BPW 連合会インターン担当) 件名「UN-CSW インターン応募」と記載してください * お問い合わせ及び応募は上記 e-mail にて受付しております。
応募方法	応募メール への必須情報	氏名 / (ふりがな) 住所 〒 / 連絡先 電話 / メールアドレス 生年月日 19 年 月 日生 所 属/大学 (学部・専攻) 又は職業 履歴 高校卒業以後の履歴 (学歴・職歴等) 滞在可能期間 (予定) 備考 応募にあたって、疑問点などあれば、お書き下さい。 応募メール本文または、添付ファイルに記載願います
	添付書類	小論文「応募動機及び国際問題、または女性問題、あるいは国連に関する意見」 日本語で 1000 字前後、英語で 500words 以内 ※日本語・英語の両方の論文を (word あるいは text ファイルでメールに添付) して 提出して下さい。
参考		<p>※選考にあたり、電話インタビューまたは面談などを行う場合があります。また選考後、BPW の事業主旨にそぐわない場合は取り消すこともあります。募集要領・メールフォームは、下記にも掲載します。 http://www.bpw-japan.jp/japanese/csw.html</p> <p>BPW の詳細についてお知りになりたい方は、こちらのホームページをご覧ください http://www.bpw-japan.jp (日本 BPW 連合会) www.bpw-international.org (BPW International)</p>

CSW-インターン参加者の声 (2018 年 15 期生報告書からの一部抜粋)

■ 9日間という短い期間ではありましたが、国連という大きな組織の中で活動していく中で、大組織だからこそできること、また、大きいからこそできないことがあると感じました。また、今回のテーマのように地域差が大きい問題を扱う中で、共通の solution を見つけることの難しさ、そして、同時に草の根レベルの地域密着方の活動の重要性を再度確認しました。最後に、日本ではまだ軽視されがちなユースのパワーの必要性を確信いたしました。



■ 私は、violence というテーマに関心があり、イベントや youth dialogue には violence に関連したものに積極的に参加しました。そこで感じたことは、violence の定義の広さです。一口に violence といっても、文化感の問題や伝統的なもの様々な要因の上にあるものもあると感じました。私は今回の CSW に参加させていただき、多様な価値観を学び、私の考えも変わりました。この経験を生かしヤングアクティビストとして、積極的に活動したいです。

■ 多様なバックグラウンドを持つ人々でユニバーサルな提言を掲げるには、女性のエンパワメントというテーマはあまりに漠然と感じられますが、国連本部という最高の意思決定機関でこそ、個々のストーリーの共有が大きな変化を生む原動力になる。医療の政策や啓発を志す身として大変有意義な学びでした。キャリアビジョンや関心を共有し合い、夜中まで熱く議論を交わせるような志高い同期インターンとの出会いは、生涯の財産です。

■ 「日本の若者はより主体的に動くべきである」。これは私が CSW で最も強く感じたことです。海外からは 15 歳未満でもモデレーターやパネリストとして参加している若者がいます。話を聞くだけの私とは対照的で、彼女たちの知識量・熱量に圧倒されました。私たち日本の若者もこのまま聞く側ではなく、若者がイベントや勉強会を企画・運営等していき、日本での若者のプレゼンスを更に上げていきたいです。CSW では日本の同世代とも交流ができたので、今後はぜひその繋がりを活かしてまずは国内での活動に尽力していきたいです。

■ 今回の CSW に参加し、これが自分の中間地点であることを確信しました。世界中の activist と出会ったことにより、自分が 1 人の女性として empower され、自分から声をあげ、変えていくのだという確固たる意思を再確認しました。この気持ちを一時的なものにせず、今後に繋げていきます。またこの場をお借りし、今回の経験を支援し、ご指導して下さった BPW の皆様に深く感謝申し上げます。